

資格を生かし、 新聞の求人欄から再就職

元海津市職員

多賀吉令さん (64 歳)

平成 20 年 3 月定年退職

【たがよしのり】昭和23年岐阜県生まれ。昭和47年名城大学工学部卒業後、三菱レイヨン株式会社入社。家庭の事情から同社を退職し、昭和54年岐阜県南濃町役場（現海津市役所）入庁。教育委員会、税務課、総務企画課、学校給食センターなどに配属。市役所を定年退職した後、大手スーパー系列の総合ビル設備管理会社を経て、平成22年5月より株式会社ナショナルメンテナンスに勤務中。趣味は海釣り、山登り（夏山）、旅行。



——多賀さんは市役所を定年退職後、民間企業にお勤めということですが、どのような仕事をされているのですか。

職種はビル管理で、定年後、最初に就職したのは大手スーパー系列の総合ビル設備管理会社です。私は新人教育を受講した後、即近隣のショッピングセンターに配属になり、ビル管理の仕事を任されました。そこに2年間勤めた後、会社都合により退職、現在は別の総合ビル管理会社で、ビル管理士として電気・空調・給排水関連の設備メンテナンスや空気環境測定の仕事をしています。

——仕事は、どのようにして見つけれられたのですか。

1 社目は地元新聞の求人欄です。定年の4カ月ほど前から探し始めたのですが、私が希望していたビル管理という職種で、「資格が生かせること」と「自宅から通勤可能」という条件が一致する求人広告を見つけました。さっそく新聞に書いてあった連絡先に直接問い合わせ、履歴書を送り、専門知識を問う筆記試験と面接を受けて、無事採用されました。それまでビル管理の現場の経験は全くありませんでしたが、通称「ビル管理士」あるいは「ビル管理技術者」と呼ばれる「建築物環境衛生管理技術者」の資格を持っていたことが採用の決め手となったようです。

2 社目についてはハローワークで見つけて就職したのですが、前職で積んだ2年間の経験もあって、すんなり採用されました。

——どうして民間企業への就職を？

定年後の身の振り方として再任用という

道もありましたが、私はとにかく役所とは全く別の仕事でした。周囲からはわざわざ民間企業に就職しなくてもと言われるように、ハローワークでも珍しがられました。それでも、役所の外に出て自分の力を試してみたいという思いが強かったのです。

——他にどのような資格を持っていたりしているのですか。

防火管理者、高圧ガス製造保安責任者、公害防止管理者、一級ボイラー技士、冷凍空調技士、管工事施工管理技士、消防設備点検者、環境社会検定など20種類以上は持っています。

——それはすごいですね。なぜ、そんなにたくさん資格を取ろうと思ったのですか。

一言で言えば、定年後の仕事を意識していたからです。年を取ってからの仕事は、体力面でどうしても若い人に劣ってしまいます。だったら、それを補うだけの資格を取得しておこうと思いました。ビル管理という職種も具体的にイメージしていましたから、そのために必要な資格ということで、地道に勉強を続けていました。

もう一つの理由として、役所に入る前に勤めていた会社の影響があります。家庭の事情で帰郷せざるを得なくなるまでの6年間、化繊会社で発電ボイラーの運転管理や省エネ業務に携わっていました。そのとき、会社から国家資格の取得を勧められたことも、資格取得に対する意欲につながったのだと思います。現在勤めている会社でも月

●1日のスケジュール

6:00~	起床、朝食、新聞、テレビ
8:00	出勤
18:30	帰宅
18:30~	夕食、団らん、テレビ
19:00~21:00	休息・自室にて雑務（パソコン）・読書等
21:00~22:00	風呂
23:00	就寝

※仕事のない日は、8:00~18:00は買い物や農作業、山仕事、家の仕事をしている。

●1週間のスケジュール

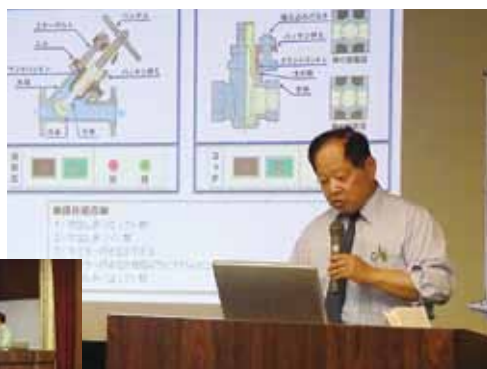
月・火・金曜	会社勤務
水曜	研修または出前講座
木曜	自宅休養
土曜	ボランティア活動
日曜	名古屋市内での経営士会に参加



「岐阜県森林愛護隊」として森林を守り育て、山村と都市との交流を進めるボランティア活動に参加しています



岐阜県地球温暖化防止活動推進員として中学校で出前講座



ボイラー協会の講師としてボイラー講座でも教えています

給に資格手当がプラスされていますし、取っ
ておいてよかったと実感しています。

——現在の雇用形態は？

入社当初から契約社員の身分です。はじ

めは、月21日のフルタイム勤務をしています
たが、だんだんエコ関連のボランティア活動
のほうに忙しくなってきたので、今は14日に
減らして働いています。

——エコ関連のボランティア活動とは？

定年の1年前、まだ創設間もなかった「環
境社会検定（ECO検定）」に挑戦しました。
地球環境への関心が高まる中、環境活動を
自分のライフワークにしたいというのが、そ
の動機でした。無事合格してからさらに意
欲が湧いてきたものの、どのように活動した
らいいかわかりませんでした。

そんなとき、インターネットで「岐阜県地
球温暖化防止活動推進員」の募集を見つけ、
平成21年度から活動を始めました。県内の
学校や企業などの出前講座で、地球温暖化
の影響と対策について話すのですが、この活
動への参加を契機に「岐阜県森林愛護隊」
や「新エネルギー・省エネルギー推進専門
員」など幅を広げています。ライフワークで
ある環境活動を補強するため、資格取得や
研修など知識獲得と技能向上のための勉強
はずっと続いています。

——今後、さらにやりたいことはありますか。

昨年は日本経営士会の環境経営士として
認定され、さらに環境教育インストラクター
（環境省認定）としても登録することができ
ました。これらをもとに、さらに環境関連の
知識・技能に磨きをかけたい！ 省エネ・再
生可能エネルギー・生物多様性・まちづくり
など環境教育を中心に児童・生徒・地域住

民を対象に活動を進めたい！ 企業に対す
る環境経営についてももっと勉強したい！
などやりたいことはたくさんありますよ。

地域と企業が一体となった美化運動や植
樹による緑化など、環境活動を推し進める
必要がありますし、特にこれからの時代を担
う子どもたちへの環境教育はとても大切だ
と痛感しています。役所勤めをしていた経
験を生かして、環境教育の面で役所と地域
のパイプ役になれば嬉しいですね。

——最後に、現役の地方公務員の方へのメッセージをお願いします。

私は資格が再就職に結びつきましたが、
やみくもに取得すればいいというものではあ
りません。職務経験を生かした資格や関心
が強い資格を核に、幅を広げていったこと
がプラスに作用しました。

何事も好きでなくては意欲的に動けませ
んし、ましてやボランティア活動は楽しみな
がらでなければ長続きしません。とは言っ
ても、ボランティア活動はお金になりません。
年金だけでは生活に不安がないとは言えな
い。私はビル管理の仕事に加えて、年に4
〜5回程度、ボイラー講師としての収入も
あり、年金の足しになっています。

休日はほとんどエコ関連のボランティア活
動で走り回っている状態ですから、定年後
のほうが忙しい。自分の能力や経験を存分
に発揮して好きなことができているので、満
足した日々を送っています。

——ありがとうございました。